

令和2年度市民公益活動支援センター指定管理者総合評価

【評価対象年度】：令和元年度

施設のサービス水準の視点 コメント

市民公益活動に関する情報収集・情報発信に努めるとともに、『門真市におけるNPO法人与多様な主体との協働等に関する実態調査』などを行い、市内におけるNPO法人や市民公益活動団体の現状把握や相談やセミナーの開催による人材育成や連携の構築に向けて努められたことについて評価できる。
また、施設管理においても適正に管理し、新型コロナウイルスによる施設対応についても迅速に対応したことについて評価できる。

収支状況 コメント

令和元年度は、黒字収支となったことについて評価できる。しかしながら、パート職員の応募がなかったことなどによる要因が大きいと考えられることや、広報紙の発行の予算を計画していなかったことから印刷費について赤字となっているため、次年度以降、収支バランスを考慮したうえで適切な計画と予算執行に努めていただきたい。

市による総合評価 コメント

指定管理初年度として、中間支援を行う立場としての役割を果たすため、情報収集や情報発信を行うとともに、相談やセミナーの開催、アンケート調査による人材育成や現状把握に努められた。引き続き、アンケート結果の分析や利用者ニーズの把握を行い、施設利用向上に努めていただきたい。
また、施設管理においても新型コロナウイルスによる緊急対応など、迅速に対応いただき施設の安全管理に努めていただいたことについて評価できる。
以上の理由により、概ね協定事項等の水準どおり施設運営がされていると判断した。

総合評価

B

総合評価区分凡例

- A：協定事項等を上回る水準で施設運営がされ、大変良好なサービスが提供されている
- B：概ね協定事項等の水準どおり施設運営がされている
- C：協定事項等の水準以下であった